

## 平成 28 年度 入学式 式辞

人は過去から現在までを生き、未来に向けて歩いていきます。本日、熊本県立大学の入学式にあたり、みなさんは自分の過去をいかにとらえ、現在に何を思い、どのような未来を思い描いていますか。私は、いま、こうしてみなさんに語りかけることのできる有難さを、たいへん幸せに感じています。いま、この瞬間は、平穏で安定した社会の上に存在しています。5年前の、あの東日本大震災を振り返ってみれば、また、世界で内戦や、破壊の混乱にある人々の暮らしを思えば、当たり前のように過ごす何気ない日々が、とても大切に何より有難いことに気付くはずです。私たちの毎日は、何もせずともめぐって来ますが、無駄にしてはならないはずのものです。みなさんのいまが、みなさんにとってどのような意味を持つのか、今日という日をぜひ振り返ってみてください。

本日はみなさんにとって、特別な今日でありましょう。ここに村田信一熊本県副知事、小早川宗弘熊本県議会副議長をはじめ、多数のご来賓をお迎えし、私ども熊本県立大学教職員一同は、新入生の前途に期待をこめ、ご家族のお慶びを拝察し、また、熊本県立大学をご支援くださる多くの方々に深く感謝しながら、新たな未来を築かんとする568名とともに歩みゆく幸せを感じております。

世の中のすべてのものは、本質的に過去からの継続的な存在です。しかし、人間の精神はしばしば再起動を必要とします。過去を総括し、未来に向かう生き方は常なるものですが、場合によっては過去と決別し、リセットして一步を踏み出すことがあってもよい。人もそれぞれです。ただし、若者とは誰も、期待され、尊ばれる存在です。大きな夢をもって自分の人生を切り開く意志を期待します。来年度に七十周年を迎える熊本県立大学は、全国屈指の公立大学です。明日からの熊本県立大学での生活に、希望をもって取り組んでください。

おもしろき こともなき世を おもしろく すみなすものは 心なりけり

これは、幕末期に、ときの閉塞感を打破せんと動いた志士のひとり、長州は高杉晋作の辞世の歌とされます。大望を遂げずに若くして逝った青年の歌は、人のすべては自分の心次第であると説いています。なるほど私たちの向上心も無気力も、自分次第の、心ひとつで決まります。心豊かで幸せな一生を願わぬものはいない。なればこそ、誰もが己の人生を確かに生き抜くための、しなやかな心を育む必要があります。学府たる大学は、真理を科学する学問の場であるとともに、学問の恩恵をもって自己実現をはかるための、英知と覚悟を学ぶところです。新入生のみなさんには、学問の力を信じて、ひたむきに学んでほしいと思います。

少子高齢化、地域間格差などの課題に直面し、世は新たな変動の時代を迎えています。日本人の生き方や価値観の再生が問われています。新入生のみなさんは、将来のある若者として、新たな時代を創造していかねばなりません。熊本は水俣出身の明治時代の文豪、徳富蘆花は、やはり新時代を築かんと尽力した叔母を描いた著書『竹崎順子』のなかに、

肥後の維新は、明治三年に来ました、と書いています。いわゆる薩長土肥にくらべると、保守的であった当時の熊本は、地域の改革にやや遅れをとりました。何かを新たに創造してゆくことは、人間の本能的な意志です。しかし改革にはエネルギーが要ります。人間は安楽に慣れ親しんだ現在を変えたくはなく、変えたい人間からすれば、そのような人々を動かすことは容易ではありません。そこで必要となるのが、自らの思いを説明する言葉の能力です。いつの時代も世の中は、現状を是とする保守と、変革に進まんとする革新とがせめぎあい、落としどころを探して調和します。このとき注目すべきは革新のあり方です。中国の唐書を出典とする守成創業の成句は、新たに始めるよりも守り続けることを困難とします。しかしながら、新たな創造には予想して想像する力が求められる分、現実対応の守りよりも壮大な想像力が要求されます。つまり、改革、革新、創業には説明力と想像力が必要です。若き新入生のみなさんにとって、創業の精神が不要だとは考えられませんから、説明力と、形なきものを思う想像力、この二つの能力の、自発的な獲得および育成をお願いしておきます。

人は目に映るものにとられるあまり、世の隅々に思いが至らぬことがあります。世界のグローバル化により、日本人は否応なく多様な世界と向き合う時代を迎えています。かつて熊本の旧制第五高等学校の教師でもあったラフカディオ・ハーン、小泉八雲は、日本人の精神性にインスタビリティ、つまり変化する精神を見出しました。その意味を、順応性と置き換えてもよいでしょう。生命の世界では、強い種が生き残るのではなく、適応力のある種が生き残るともされますが、人間にとっても、いろいろな物事に適応する力である順応性は大切です。日本の木造建築の文化は、樹木に恵まれているという環境とともに、この発想に通じています。自然の力に逆らって永遠に残るものを作るのではなく、必ずや起こる天変地異に応じて壊れたら作り変える。これが日本人の知恵とされるのです。順応性は、万事に柔軟に対応し、あるべき姿を見出すことのできる素晴らしい性質です。あなたの人生の主役は、あなた自身でしかない。自分自身の人生を自分らしく生きるために自己を確立することは不可欠ですが、主役だけの世界というものはあり得ません。多くの人々と作り出す豊かな人生を実りとするために、人と協力し、調和し、自分のためにもよい環境を作り上げる努力を惜しまぬことです。

最後に、先走りますが、新入生のみなさんが、四年後の卒業時に泣くも笑うも、今後の心ひとつです。決して、もっと頑張ればよかった、などと後悔することのない学生生活を過ごされんことを念願し、新入生のみなさんへのエールとします。

平成 28 年 4 月 9 日

熊本県立大学 学長 半藤英明